

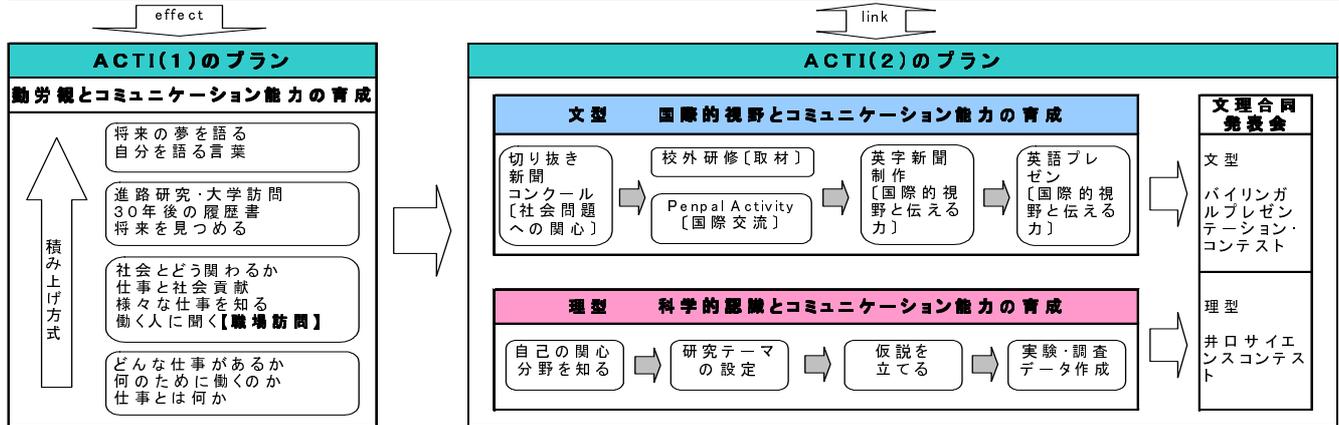
多面的総合的な視点をもつための切り抜き新聞制作

広島県立広島井口高等学校

1 活動概要

【国際交流】のプラン

- ① 海外姉妹校との現地交流（ハワイ修学旅行・オーストラリアホームステイ研修）
- ② 海外からの訪問受け入れ（姉妹校からのホームステイ・留学生等の受け入れ）
- ③ 国際交流事業への参加（ユースイン広島・青少年のための国際セミナー・イングリッシュキャンプ・ユニタール青少年大使等）
- ④ 各種コンクールへの参加（英語スピーチコンテスト・英作文コンテスト等）



本校の総合的な学習の時間（ACTI）は2年間を通してESDを実践すべく全体の学習プランが組み立てられている。1年次では社会と自分との関わりを見つめつつ、「環境」「エネルギー」「政治」「経済」「教育」「人権」など様々なテーマを取り上げ、自分がどのように社会に貢献しうるかを考えさせる。2年次では、文系は国際社会に、理系は自然・環境に視野を拡大させ、協同的に課題を解決するための様々なプログラムに沿って体験的な学習をさせている。また、生徒の興味関心を広げたり、より高い志を持たせたりするために、学校独自の国際交流プランともリンクさせている（上図）。特に、2年文系のACTIでは、社会の諸問題について協同的に解決策を模索することと、国際交流を通じて異なる立場を理解することの二つがスパイラルを描きつつ発展深化するよう学習計画が作られている。

2 本実践事例について

（1）本事例実施の背景・これまでの取組

「切り抜き新聞」制作は2年文系のACTI最初のプログラムである。1年次の自己と社会との関わりを見つめる学習から、より多面的総合的な学習へと発展させるため、グループで社会の諸課題について考察する。「国際・人権・環境」「政治・経済・法律」「医療・看護・福祉」「教育・歴史・文化」という4つの分野の中からそれぞれ関心の深い分野を選択し、各分野の中でグループを形成する。

昨年度までは、「切り抜き新聞」の学習は社会への関心を深めるきっかけとなるに止まり、その後の学習との関連が薄かったが、今年度からは「切り抜き新聞」の学習で発見し考察したテーマを、「英字新聞」及び「バイリンガルプレゼンテーション」(注)の学習に発展深化させようと全体を再構成した。「切り抜き新聞」から「バイリンガルプレゼンテーション」までのプログラムに含まれる全ての活動がスパイラル的に一本の太い線上に並んだわけである。作品も地元新聞社主催の新聞コンクールに応募するだけでなく文化祭でも展示した。

(注) 一年間探究したテーマについて、英語によるプレゼンテーションを行う。パワーポイントデータは日本語で作成。

（2）指導のポイント

- ☆ 各グループが個別のテーマを設定する際、持続可能な社会の実現にむけての課題を意識させるとともに、簡単に解決できない問題について様々な角度から多面的に考察させるため、異なる主張の記事を収集整理させる。(付けたい力1)
- ☆ 多様な立場や考え方の違いに気付かせるとともに、違いを認め、相手の立場や考えを理解しながら議論していくことを体験させる。(付けたい力2)
- ☆ 年間を通して継続して探究活動を行うとともに、それを発信することによって周囲や社会と問題を共有し、解決に向けて協同的・主体的に行動する姿勢を身につけさせる。(付けたい力3)

3 学習指導案

◎本時の授業…本実践は4つの分野に分かれた生徒が4～5人のグループを作り、各分野の領域内でグループ個別のテーマを設定した後、関連する新聞記事を収集し、自分達の考察と合わせて「切り抜き新聞」に再構成するという学習である。

(1) 本時のねらい

- 新聞を読むことによって社会の諸問題に目を向け、年間の研究テーマを設定する。
- テーマに関して様々な主張に触れたり議論したりする中で、多面的総合的な見方を知る。
- 異なる立場を理解した上で協同的に課題を解決する力を身につける。

(2) 対象学年 第2学年

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入	1 「切り抜き新聞」について知る。 2 新聞を持ち寄り記事を読む。	・「切り抜き新聞」のねらい及びコンクールの要項について説明する。 ・前年度の作品が掲載された地元新聞社の号外を配布する。	学習のねらいを理解している。
展開1	3 自分達のテーマを設定する。 4 新聞記事を収集する。	・年間を通して探究し、英字新聞やバイリンガルプレゼンテーションにおいても発信できるテーマ・内容を意識させる。 ・異なる意見を広く収集させる。	年間を通して探究できるテーマを設定している。 記事を収集している。
展開2	5 記事を整理しながら、それらを元に何を課題として提起するかを議論する。 6 議論を通して自分達の立場や主張を明確にする。 7 考察したことをまとめ記述する。 8 切り抜いた記事や考察の配列及び見出しを考える。 9 台紙に記事を貼付したり考察を書き入れたりする。	〔「癌について」の場合の指導例〕 ・なぜ癌について調べたいのか、何を問題提起したいのかを明確にさせる。 ・記事はKJ法を用いて整理させ、内容を取捨選択させる。 ・見る人にわかりやすく、かつアピールできる紙面作りを考えさせる。 ・「早期発見の重要性」という主張を支える根拠を明確にさせる。	課題や主張を明確にしている。 班員で協力して議論や作業を行っている。
まとめ	10 出来がった作品についてプレゼンを行い、自己評価・相互評価をする。 11 文化祭で展示した後、コンクールに応募する。	・バイリンガルプレゼンテーションを意識して発表させる。	発表の仕方を理解している。

4 生徒の反応 (授業後の感想等)

同じ分野でも関心のあるところがみんな違って、新聞やプレゼンテーションに違いが出た。それが面白かったし、視野が広がった。

実際に行動するという事はACTIを通してでないといけない貴重な体験で、沢山のことを吸収できた。

切り抜き新聞は、正直最初は面倒くさかったけど、完成した時、さらに入賞できた時の達成感が面倒くさいこととは比べものにならないくらい大きくて、みんなで頑張れて良かったなと思った。

医療 18 班



グループテーマ

「癌について」

「みんなの新聞コンクール」佳作

